

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします

枯死症対策2：土壤病害の見分け方

- モモ樹が枯れる原因は**枯死症**の他に土壤病害等がありますがしばしば混同されているようです。今回はこれらを見分け方について取りまとめて紹介します。

表 枯死症と土壤病害の見分け方と対策（果樹試験場：モモ枯死症の発生抑制に向けて～第2報～）

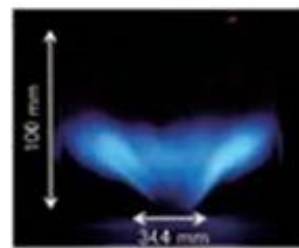
原因	症状		対策
	地上部	地下部	
枯死症の疑い	枯れている以外は健全。根元から ヒコバエ が発生	地下部は健全で、台木部分に褐変などの異常は見られない。	「 胴枯病 」の感染も多く認められるので、伐採した樹は 圃場外に持ち出し処分 して苗木への伝染を避ける。
土壤病害	ならたけ病・ならたけもどき病 ヒコバエの発生はない。台木と穂木の境界部から地上部まで 白い菌糸膜 が張り付き、「キノコ臭」やキノコが発生する。	伸長が抑制される。	罹病樹はすみやかに 抜根 し、罹病根をていねいに 取り除く 。（現在、登録薬剤はない。）
	白紋羽病	ヒコバエの発生はない。	初期症状： 根の表面には白～灰白色の菌糸束 がみえる。 後期症状：表面の菌糸は消失。 皮下に白い扇状の菌糸膜 がみえる。根が腐敗し、ポキッと折れる。
その他の原因	排水不良による根腐れ等		発生原因に応じた暗さよ工事等



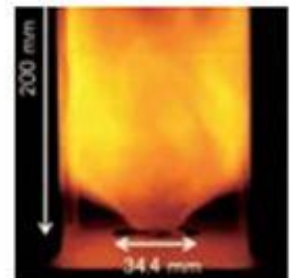
燃料としてのアンモニア



- 窒素肥料として使われる**アンモニア**は二酸化炭素を発生しない**新エネルギー源**として期待されています。虫刺され薬の「キンカン」に入っているあの臭い物質です。
- 本来、アンモニアの燃焼は弱く、不安定なものでしたが、条件を適切に設定すると**十分に燃焼**してエネルギーを発します。
- 当面は天然ガスや石炭に混ぜて使われますが、将来は**アンモニアだけで燃焼**させて実用化されると期待されています。
- 同時にアンモニア生産量が増大すれば、コスト低減により**農業面のメリット**も高まります。



メタン火炎



アンモニア火炎

図 タービン内で旋回燃焼した際の火炎
(国立研究法人 科学技術振興機構)